

平成30年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	SSRIサイエンスツアー in 長岡技術科学大学		
日 時	平成31年1月24日(木)		
会 場	長岡技術科学大学		
対 象	長岡高校1学年普通科(235人)		
目 的	地元の長岡技術科学大学の先生による講義と大学の施設設備見学を通して、科学や科学技術への興味・関心を高め、また、その意義や有用性の理解を深める。		
内 容	<p>[講義]</p> <p>1 「雪利用最前線～食品熟成からデータセンターまで～」 上村 靖司 教授(機械創造工学専攻)</p> <p>2 「地球のエンジン「微生物」を感じてみよう」 小笠原 渉 教授(技術科学イノベーション専攻)</p> <p>3 「感情を読み取る技術で未来を先取りしてみよう！」 中川 匡弘 教授(技術科学イノベーション専攻)</p> <p>[施設見学]</p> <p>メタン高度利用技術研究センター、てくみゅ、音響センター、 極限エネルギー密度工学研究センター</p>		
			
	<p>開講式 (長岡技術科学大学中出文平副学長)</p>		<p>講義：「感情を読み取る技術で未来を先取りしてみよう！」 中川匡弘 教授</p>
			
	<p>講義：「地球のエンジン「微生物」を感じてみよう」 小笠原 渉教授</p>		<p>施設見学：メタン高度利用技術研究センター</p>

アンケート 評価	<p>① 科学技術に対する興味・関心が高まった</p> <table border="1" data-bbox="438 304 1187 423"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>68.2%</td> <td>29.8%</td> <td>2.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 科学や科学技術の意義や有用性への理解が深まった</p> <table border="1" data-bbox="438 539 1187 658"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70.7%</td> <td>26.8%</td> <td>2.0%</td> <td>0.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 全体を通して (満足度)</p> <table border="1" data-bbox="438 768 1187 887"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>67.2%</td> <td>30.8%</td> <td>2.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	68.2%	29.8%	2.0%	0.0%	A	B	C	D	70.7%	26.8%	2.0%	0.5%	A	B	C	D	67.2%	30.8%	2.0%	0.0%
A	B	C	D																						
68.2%	29.8%	2.0%	0.0%																						
A	B	C	D																						
70.7%	26.8%	2.0%	0.5%																						
A	B	C	D																						
67.2%	30.8%	2.0%	0.0%																						
感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今まで科学技術に対してははっきりとしたイメージを持てなかったが、雪の利用の話聞き、科学は意外と身近なところにあると感じた。科学技術によって豪雪地帯であることを逆にアドバンテージにできることに感心した。</li> <li>・ 今まで知らなかった科学の応用技術や、これからの科学の未来のことを聞き、ますます興味が湧いた。これから進路を決めていく中で、様々な情報を収集し、この先の社会がどのように変わっていくのか考えることが重要だと思った。</li> <li>・ 身の回りにはたくさんの「科学」があって、その「科学」を上手に活用することで、人々に良い環境を与えてくれることを知った。自分の周りにどんな「科学」が潜んでいるか探してみたい。</li> <li>・ 実際に体験を通して科学について楽しみながら理解することができた。身近なテーマについての講義は関心をもって聞くことができた。しかし、難しい内容にはついていけない部分もあった。もっと自分の知識を増やしたいと思った。</li> <li>・ 科学技術が自分たちの社会のいろいろなところで生かされていることが分かった。また、社会や他の人の幸福のために技術を開発して広めるということは素晴らしいと思った。</li> <li>・ 社会の様々な問題が科学の力で解決できるという事に驚いた。雪冷房や雪冷蔵のメリット、デメリットをコスト、産業、観光、製造過程など様々な観点から考察し、表やグラフを用いて表すことで効果があるのかどうか分かるという話を聞き、おもしろいと思った。</li> </ul>																								